

# 平成29年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の概要

- (1) 実施期日 平成29年4月18日(火)
- (2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
- (3) 調査事項

### ①教科に関する調査

○小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語及び数学とする。

#### ○出題範囲

ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など(主として「知識」に関する問題)を中心とした出題(A問題)

イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容(主として「活用」に関する問題)を中心とした出題(B問題)

#### ○出題形式

記述式の問題を一定割合で導入する。

### ②質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

### 3 教科に関する調査の結果概要（小学校）

#### ① 調査科目の区分による平均正答率

<小学校>

(単位%)

調査科目	羽生市	埼玉県	全国
国語A	76.0	75.0	74.8
国語B	55.0	57.0	57.5
算数A	76.0	76.0	78.6
算数B	44.0	45.0	45.9

#### ② 学習指導要領の領域等での区分による平均正答率

<小学校国語A>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	63.2	69.8	69.2
書くこと	59.9	59.5	60.6
読むこと	65.7	69.0	70.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	80.0	78.1	78.0

<小学校国語B>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	61.8	63.1	64.9
書くこと	51.2	52.6	53.4
読むこと	48.1	49.2	49.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			

<小学校算数A>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
数と計算	78.9	77.6	80.6
量と測定	61.7	66.2	68.8
図形	82.2	79.6	81.1
数量関係	77.6	76.3	79.6

<小学校算数B>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
数と計算	49.4	51.4	52.8
量と測定	48.8	44.1	47.0
図形	10.7	11.3	13.2
数量関係	38.8	38.5	40.0

### ③ 分析

#### 【国語 A（主として「知識」に関する問題）】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均をやや上回る（全国比+1.2%）結果でした。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域は全国・県平均を（全国比+2.0%）上回っています。
- ・「書くこと」領域は、全国・県平均とほぼ同等（全国比-0.7%）となっています。
- ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、全国・県平均を下回る（全国比-6.0%・-4.5%）結果でした。
- ・「互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う」「手紙の構成を理解し、後付けを書く」「俳句の情景を捉える」に課題があります（全国比-5.0%以上）。

#### 【国語 B（主として「活用」に関する問題）】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均をやや下回る（全国比-2.5%）結果でした。
- ・「書くこと」「読むこと」領域は、全国・県平均よりやや下回って（全国比-2.2%・-1.1%）います。
- ・「話すこと・聞くこと」については、全国・県平均を（全国比-3.1%）下回る結果でした。
- ・「動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す」に課題があります（全国比-5.0%以上）。

#### 【算数 A（主として「知識」に関する問題）】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均をやや下回る（全国比-2.6%）結果でした。
- ・「図形」領域は全国・県平均を（全国比+1.1%）上回っています。
- ・「数と計算」「数量関係」領域は、全国・県平均よりやや下回って（全国比-1.7%・-2.0%）います。
- ・「量と測定」については、全国・県平均を（全国比-7.1%）下回る結果でした。
- ・「1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができる」「小数と整数の加法の計算をすることができる」「任意単位による測定について理解している」「資料を二次元表に分類整理することができる」に課題があります（全国比-5.0%以上）。

#### 【算数 B（主として「活用」に関する問題）】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均をやや下回る（全国比-1.9%）結果でした。
- ・「量と測定」領域は全国・県平均を（全国比+1.8%）上回っています。
- ・「図形」「数量関係」領域は、全国・県平均よりやや下回って（全国比-2.5%・-1.2%）います。
- ・「数と計算」については、全国・県平均を（全国比-3.4%）下回る結果でした。
- ・「示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができる」「示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できる」に課題があります（全国比-5.0%以上）。

#### 4 教科に関する調査の結果概要（中学校）

##### ① 調査科目の区分による平均正答率

<中学校>

(単位%)

調査科目	羽生市	埼玉県	全国
国語A	71.0	76.0	77.4
国語B	68.0	72.0	72.2
数学A	57.0	63.0	64.6
数学B	43.0	48.0	48.1

##### ② 学習指導要領の領域等での区分による平均正答率

<中学校国語A>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	66.8	74.0	75.4
書くこと	79.9	84.4	85.7
読むこと	65.9	71.6	73.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.0	76.0	77.2

<中学校国語B>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	67.7	71.7	72.4
書くこと	55.9	60.6	60.8
読むこと	66.5	71.4	72.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	32.3	41.4	41.4

<中学校数学A>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
数と式	61.4	68.9	70.4
図形	60.7	65.2	66.0
関数	50.1	55.5	57.4
資料の活用	50.9	57.3	57.6

<中学校数学B>

学習指導要領の領域等での区分	羽生市	埼玉県	全国
数と式	38.7	44.6	46.3
図形	43.0	47.4	47.1
関数	42.5	50.0	50.8
資料の活用	46.6	48.9	49.1

### ③ 分析

#### 【国語 A (主として「知識」に関する問題)】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均を下回る(全国比-6.4%)結果でした。
- ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域は、全国・県平均を下回る(全国比-8.6%・-5.8%・-7.9%・-5.2%)結果となっています。
- ・「相手にわかりやすいように語句を選択して話す」「文脈に即して漢字を正しく書く」「場面の展開や登場人物の描写に注目して読み、内容を理解する」「文章に表れているものの見方や考え方について交流を通して自分の考えを広くする」「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」に課題があります。

#### 【国語 B (主として「活用」に関する問題)】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均を下回る(全国比-4.2%)結果でした。
- ・「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」領域は、全国・県平均より下回って(全国比-4.7%・-5.6%・-4.9%・-9.1%)います。
- ・「表現の仕方について捉え、自分の考え方を書く」「相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手にわかりやすく伝わるように工夫して書く」に課題があります。

#### 【数学 A (主として「知識」に関する問題)】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均を下回る(全国比-7.6%)結果でした。
- ・「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」については、全国・県平均を下回る(全国比-9.0%・-5.3%・-7.3%・-6.7%)結果でした。
- ・「加減乗除を含む正の数と負の数の計算において計算の決まりに従って計算できる」「等式を目的に応じて変形することができる」「簡単な一元一次方程式を解くことができる」「具体的な場面で、一元一次方程式を作ることができる」「簡単な二元一次方程式を解くことができる」「円柱の体積を求めることができる」「与えられた比例のグラフから  $x$  と  $y$  の関係を  $y=ax$  の式で表すことができる」「具体的な事象における 2 つの数量の変化や対応をグラフから読み取ることができる」に課題があります。

#### 【算数 B (主として「活用」に関する問題)】

- ・羽生市の平均正答率は全国・県平均を下回る(全国比-5.1%)結果でした。
- ・「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」については、全国・県平均を下回る(全国比-7.6%・-4.1%・-8.3%・-2.5%)結果でした。
- ・「与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる」「数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる」「筋道を立てて考え、証明することができる」に課題があります。

## 5 質問紙調査結果の概要

※質問事項は、小学校92項目、中学校94項目から抜粋

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

質問事項	小学校6年生 (%)		
	羽生市	埼玉県	全国
1 朝食を毎日食べている。	94.4	96.5	95.4
2 自分にはよいところがある。	80.5	79.8	77.9
3 学校のきまり（規則）を守っている。	95.4	95.1	92.6
4 友達との約束を守っている。	96.1	97.8	97.2
5 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。	67.8	66.1	63.9
6 学校に行くのは楽しい。	86.9	86.9	86.3
7 読書は好きである。	73.6	72.8	74.3
8 家で学校の宿題をしている。	98.0	97.8	96.9

質問事項	中学校3年生 (%)		
	羽生市	埼玉県	全国
1 朝食を毎日食べている。	94.0	94.1	93.2
2 自分にはよいところがある。	70.7	72.3	70.7
3 学校のきまり（規則）を守っている。	97.1	96.3	95.2
4 友達との約束を守っている。	99.1	97.5	97.4
5 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。	59.2	57.2	59.2
6 学校に行くのは楽しい。	81.2	80.7	80.9
7 読書は好きである。	82.3	72.1	69.9
8 家で学校の宿題をしている。	84.7	87.4	89.5

### 【調査結果から分かる特徴】

- ・質問については、小・中学生ともに、全国・県平均と同程度もしくは上回っている項目が多くなっています。小学校では、「1朝食」「4友達との約束」が全国・県平均より下回りました。
- ・「8家で宿題」の質問については、小学生では全国・県平均より上回っていますが、中学生では、下回っています。
- ・中学生においては、「7読書が好き」な生徒は、全国平均を上回っています。

### 【羽生市の学力向上への取組】

- ・各校ごとの全国学力・学習状況調査の分析  
(昨年度からの伸び(学習方略・非認知能力)を遡って分析し、よい取組を共有する)
- ・分析を基にした各校ごとの重点取組問題の焦点化
- ・重点取組問題の焦点化を基にした各校ごとの重点取組実施計画書の作成
- ・羽生市教育委員会学力向上学校訪問の実施
- ・羽生市学力アップテストの実施、分析・振り返り、補充